

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公開番号】特開2016-13210(P2016-13210A)

【公開日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-006

【出願番号】特願2014-135476(P2014-135476)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の眼科検査ユニットによって得られた被検眼の第1の検査データと、第2の眼科検査ユニットによって得られた第2の検査データと、を記憶部に記憶し表示部に出力する眼科検査情報処理装置であって、

前記第1の眼科検査ユニットでの検査時に設定された検査モードが互いに異なる複数の第1の検査データと、前記第2の検査データとを同一グループとして関連付けるグループ設定手段と、

前記記憶部に記憶された前記複数の第1の検査データのいずれかを選択するための選択指示を受け付ける指示受付手段と、

前記指示受付手段によって選択指示された第1の検査データを前記表示部に表示すると共に、前記選択指示された第1の検査データと同一グループとして関連付けられた第2の検査データを前記記憶部から取り出し、前記第1の検査データと同時に前記表示部に表示する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする眼科検査情報処理装置。

【請求項2】

前記グループ設定手段は、互いに異なるフォルダに格納された複数の第1の検査データと、前記第1の検査データのいずれかと同一又は異なるフォルダに格納された前記第2の検査データとを同一グループとして関連づけ、

前記指示受付手段によって選択指示された第1の検査データを前記表示部に表示すると共に、前記選択指示された第1の検査データと同一グループとして関連づけされた前記第2の検査データを前記記憶部から取り出すことによって、互いに異なるフォルダに格納された前記第1の検査データと前記第2の検査データとを同時に前記表示部に表示可能であることを特徴とする請求項1の眼科検査情報処理装置。

【請求項3】

前記指示受付手段は、前記記憶部に記憶された第2の検査データを選択するための選択指示を受け付け、

前記表示制御手段は、前記指示受付手段によって選択指示された第2の検査データを表示部に表示すると共に、前記選択指示された第2の検査データと同一グループとして関連付けられた第1の検査データを選択し、前記第2の検査データと同時に前記表示部に表示

することを特徴とする請求項 1 または 2 の眼科検査情報処理装置。

【請求項 4】

前記グループ設定手段は、付加情報として、前記第 1 の眼科検査ユニット及び第 2 の眼科検査ユニットの少なくともいずれかを備える眼科検査装置本体の動作情報、前記眼科検査装置本体を検者の操作に応じて動作させるためのソフトウェアに対する操作情報、電子カルテ上で予め設定された一連の検査指示情報、各検査データに関する眼底上での検査位置情報の少なくともいずれかに応じて、複数の第 1 の検査データと前記第 2 の検査データとを同一グループとして関連付けることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかの眼科検査情報処理装置。

【請求項 5】

前記グループ設定手段は、前記第 1 の眼科検査ユニット及び第 2 の眼科検査ユニットの両方を備える眼科検査装置による同一被検眼への一連の検査動作を経て取得された第 1 の検査データ及び前記第 2 の検査データを同一グループとして関連付けることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかの眼科検査情報処理装置。

【請求項 6】

眼科用光干渉断層撮影ユニットによって得られた被検眼の第 1 の検査データと、眼科用光干渉断層撮影ユニットとは異なる眼科検査ユニットによって得られた第 2 の検査データと、を記憶部に記憶し表示部に出力する眼科検査情報処理装置であって、

前記眼科用光干渉断層撮影ユニットでの検査時に設定された検査モードが互いに異なる複数の第 1 の検査データと、前記第 2 の検査データとを同一グループとして関連付けるグループ設定手段と、

前記記憶部に記憶された前記複数の第 1 の検査データのいずれかを選択するための選択指示を受け付ける指示受付手段と、

前記指示受付手段によって選択指示された第 1 の検査データを前記表示部に表示すると共に、前記選択指示された第 1 の検査データと同一グループとして関連付けられた第 2 の検査データを前記記憶部から取り出し、前記第 1 の検査データと同時に前記表示部に表示する表示制御手段と、

を備えることを特徴とする眼科検査情報処理装置。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかの眼科検査情報処理装置は、

第 1 の眼科検査ユニット及び前記第 2 の眼科検査ユニットの両方を備える複合型眼科検査装置と接続されたシステムであって、

前記複合型眼科検査装置は、

前記第 1 の眼科検査ユニット及び前記第 2 の眼科検査ユニットによる検査データの取得を 1 回のトリガ信号に基づいて連続して行う連続検査モードと、

前記第 1 の眼科検査ユニット及び前記第 2 の眼科検査ユニットによる検査データの取得を個別のトリガ信号に基づいてそれぞれ行う個別検査モードであって、前記第 1 の眼科検査ユニットによる検査データの取得を行う第 1 検査モードと、前記第 2 の眼科検査ユニットによる検査データの取得を行う第 2 検査モードとを少なくとも有する個別検査モードと、

を設定可能なモード設定手段を備え、

前記グループ設定手段は、

前記連続検査モードによって得られた第 2 の検査データと、前記個別検査モードによって得られた第 1 の検査データとを同一グループとして関連付けることを特徴とする眼科検査情報処理装置。

【請求項 8】

第 1 の眼科検査ユニットによって得られた被検眼の第 1 の検査データと、第 2 の眼科検査ユニットによって得られた第 2 の検査データと、を記憶部に記憶し表示部に出力する眼科検査情報処理装置において実行される眼科検査情報処置プログラムであって、

前記眼科検査情報処理装置のプロセッサに実行されることで、

前記第1の眼科検査ユニットでの検査時に設定された検査モードが互いに異なる複数の第1の検査データと、前記第2の検査データとを同一グループとして関連付けるグループ設定ステップと、

前記記憶部に記憶された前記複数の第1の検査データのいずれかを選択するための選択指示を受け付ける指示受付ステップと、

前記指示受付ステップにおいて選択指示された第1の検査データを前記表示部に表示すると共に、前記選択指示された第1の検査データと同一グループとして関連付けられた第2の検査データを前記記憶部から取り出し、前記第1の検査データと同時に前記表示部に表示する表示制御ステップと、

を前記眼科検査情報処理装置に実行させることを特徴とする眼科検査情報処置プログラム。